



生命輝く赤中生

目指す学校像

明日また来たくなる学校



「学校ブログ」掲載中!

赤見台中HP



## 将来に向けて

校長 穠山 孝幸

今年は例年より遅い梅雨入りになりました。晴れても雨でも蒸し蒸しと湿度が高い日が続き、体調管理に気を使う日々が続いています。先月は学校総合体育大会北足立北部班大会が開催されました。私は各会場を回りましたが、どの部活動も選手は精一杯力を尽くし、他の部員も一生懸命に応援し、部としての一体感がとても出ていました。部活動を引退する3年生は、これまでよく頑張りました。県大会等の上位大会への出場が決まった選手の皆さん、おめでとうございます。できる限りの準備をして持てる力を発揮してきてもらいたいと思います。

さて、今月6日に資源回収を行います。地域の方々や保護者・赤中応援支隊の皆様にはご協力をいただくことになりありがとうございます。また、2年生は10日から鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業として3Days 職場体験学習を行います。生徒を受け入れてくださる地域の事業所等の方々には大変お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。働くことのほんの一端ではありますが、中学生のこの時期に体験できることはとても貴重なことですので、生徒の皆さんは積極的に取り組み、自分の将来への展望へとつなげてもらいたいと思います。

今、中学生の皆さんは自分の将来についてどのような思いを描いているでしょうか。先日、全校朝会で5年後の自分、10年後の自分のイメージをもつことについてお話ししました。10年後には多くの方が社会人になっているでしょう。どのような仕事をしたい、どんな職業に就きたいと考えているでしょうか。まだまだそんな先のことは考えられないと思っている人もいるでしょう。

生きていくためにはお金が必要です。自分の興味あることや家族、周りの環境から、こんな仕事をしてお金を稼げたらいいなと思える職業を思い描けるとよいと思います。この先、考えが変わるかもしれませんが、自分の思い通りになるとも限りませんが、将来について考えることが大切です。先日読んだ新聞に秩父市のそば店の記事がありました。ソバの自家栽培・自家製粉という地産地消のお店で、県外から食べに来る人がいるくらいの人気店だそうです。その店主が「はるばる秩父まで来ていただいて、まずいものは食べさせられない」とインタビューに答えていました。そこにはそば職人として誇りを感じました。

人は、社会において自分一人だけでは生きられません。物を作る人、運ぶ人、売る人、書く人、考える人、表現する人、サービスを提供する人など様々な職業の人たちがいて支えあって成り立っています。今、人工知能 AI などコンピュータやデジタル市場が活況で今後もこの分野は拡大していくでしょうが、世の中には政治・経済・医療・福祉・教育・環境など多様な分野があります。社会の一員として、こんな仕事をして人の役に立ちたい、社会に貢献したいを思う気持ちもまた大切だと改めて感じました。



25日には鴻巣市「SDGs 未来会議」が開催されます。これは市内各中学校から代表生徒が、SDGs の観点から各校の取組や本市のまちづくりについて提言をするものです。本校からも3年生3名が参加します。今後も「持続可能な」という視点は重要でしょう。